

1 調査名称：（高松市）総合都市交通体系調査

2 調査主体：高松市

3 調査圏域：高松市都市計画区域内

4 調査期間：平成30年度、令和元年度

5 調査概要：

現在、高松市の都市計画道路は66路線、L=217.99kmで、そのうち整備済延長は平成30年3月末現在で、191.56km整備率は87.8%と比較的高い状況である。

なお、未着手区間は、16路線（20区間）、L=約17.6kmであり、都市計画決定から長期間を経過したことによる都市構造や交通需要の変化等による整合性を図るため、縮小・廃止を含めた都市計画道路網の見直しの検討を行うものである。

I 調査概要

1 調査名称：（高松市）総合都市交通体系調査

2 報告書目次

1. 業務の概要

- 1.1 業務の目的・概要
- 1.2 業務項目
- 1.3 業務実施フロー
- 1.4 業務の内容
- 1.5 成果品

2. 将来交通量推計

- 2.1 再編対象路線の確認
- 2.2 将来交通量推計の概要
- 2.3 将来交通量推計の結果（将来推計交通量図）

3. 費用対効果の分析

- 3.1 費用便益比の算定
- 3.2 費用便益比算出結果

4. 都市計画道路の適正配置の検討

- 4.1 道路の機能分類

5. 課題整理・評価基準の設定

- 5.1 課題整理
- 5.2 評価基準の設定

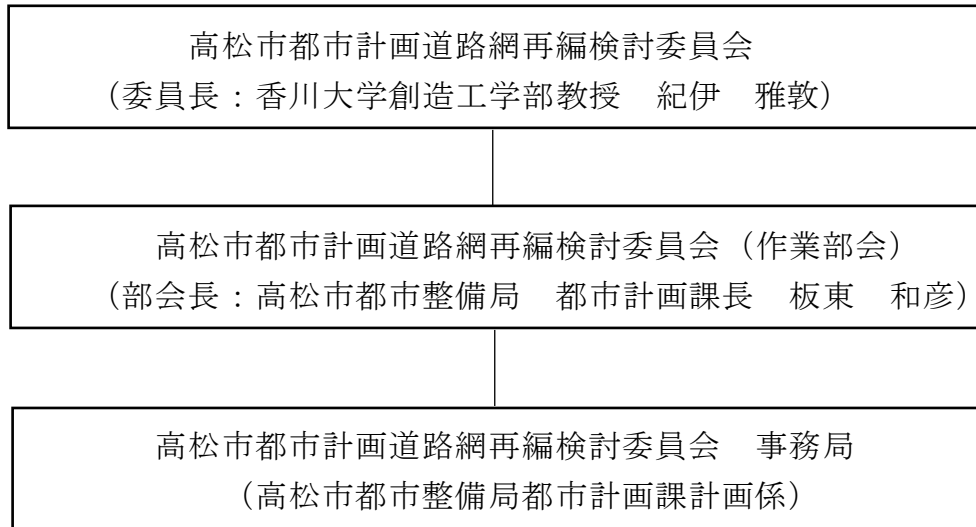
6. 状況変化に伴う必要性の評価

7. 廃止・変更路線の選定・影響確認

- 7.1 検討（検証）の手法
- 7.2 検討（検証）結果一覧
- 7.3 検討（検証）結果（カルテ）

8. 長期間着手が見込めない路線への対応方針検討
9. 再編結果についての対応方針検討
10. 次年度の追加検証に向けた調査・検討
 - 10.1 都市計画道路網再編検討等における評価項目・基準の他都市事例収集整理
 - 10.2 公共交通網（計画）と現況道路の連携状況整理
11. 路線（区間）カルテの作成
 - 11.1 路線カルテ
 - 11.2 検証カルテ
12. 検討委員会
 - 12.1 第1回検討委員会資料・会議録
 - 12.2 第2回検討委員会資料・会議録
 - 12.3 第3回検討委員会資料・会議録
 - 12.4 第4回検討委員会資料・会議録

3 調査体制



4 委員会名簿等：

委員の区分	氏 名	現 職 名	摘 要
1号委員 学識経験者	太田 瑠美	弁護士	
	岡田 徹太郎	香川大学経済学部教授	
	紀伊 雅敦	香川大学創造工学部教授	委員長
	西成 典久	香川大学経済学部教授	副委員長
2号委員 関係行政機関 の職員	荒金 恵太	国土交通省四国地方整備局 建政部都市・住宅整備課長	
	生田 幸治	香川県土木部道路課長	
	都村 仁	香川県土木部都市計画課長	

II 調査成果

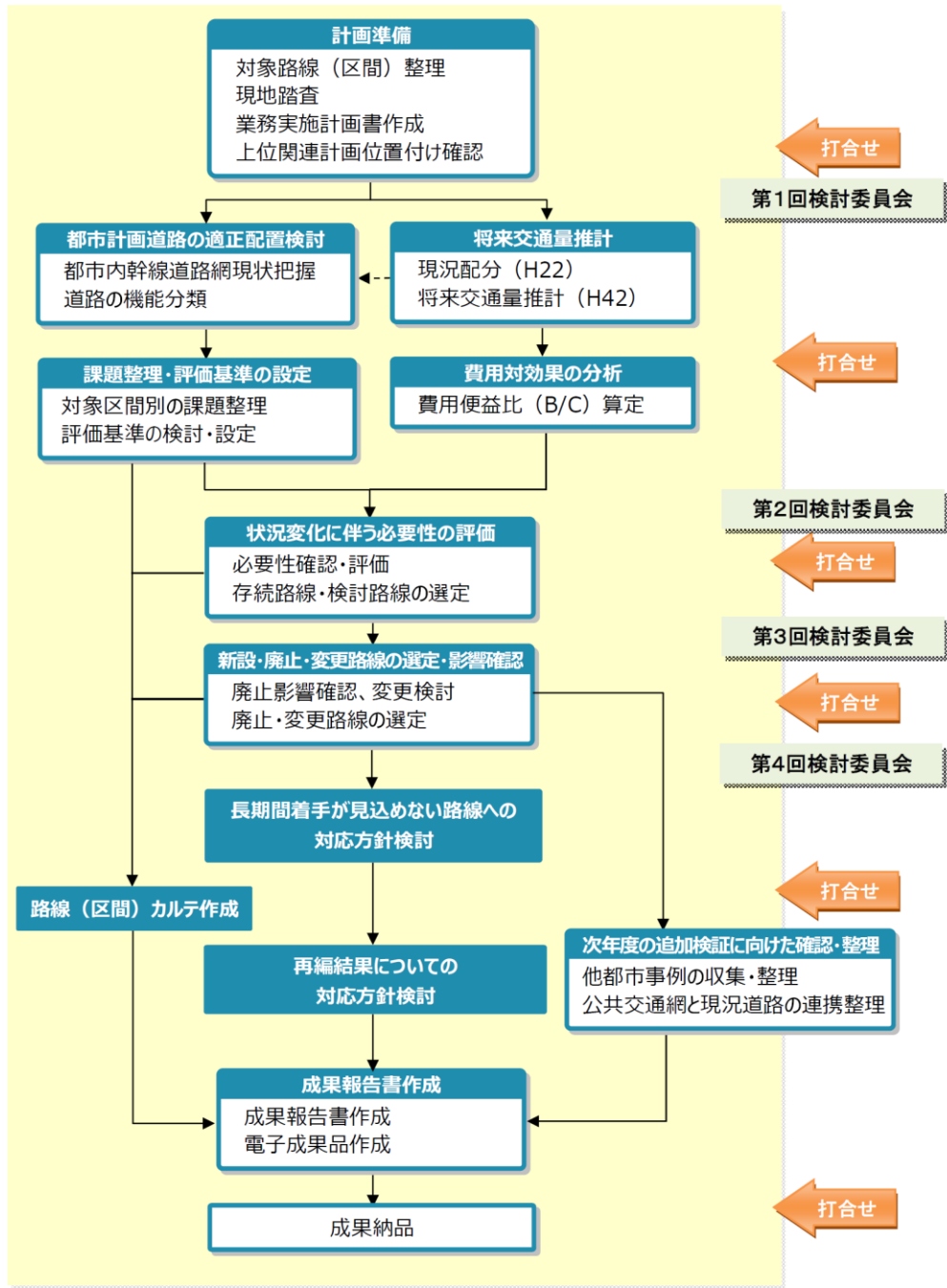
1 調査目的

高松市の都市計画決定道路は66路線、延長217.99kmであり、平成30年3月末現在の整備済延長は、191.33km、整備率は87.8%と比較的高い状況にある。しかしながら、未整備路線のうち未着手区間は、16路線、延長約17.7kmあり、予算、用地買収、道路の構造的な面などから着工されておらず、これらの路線の多くは整備予定の目処が立たないことや、都市計画決定から長期間が経過したことによる都市構造や交通需要の変化等により、当初の計画と整合しなくなっているなど、縮小・廃止も含めた都市計画道路網の再編が大きな課題となっている。

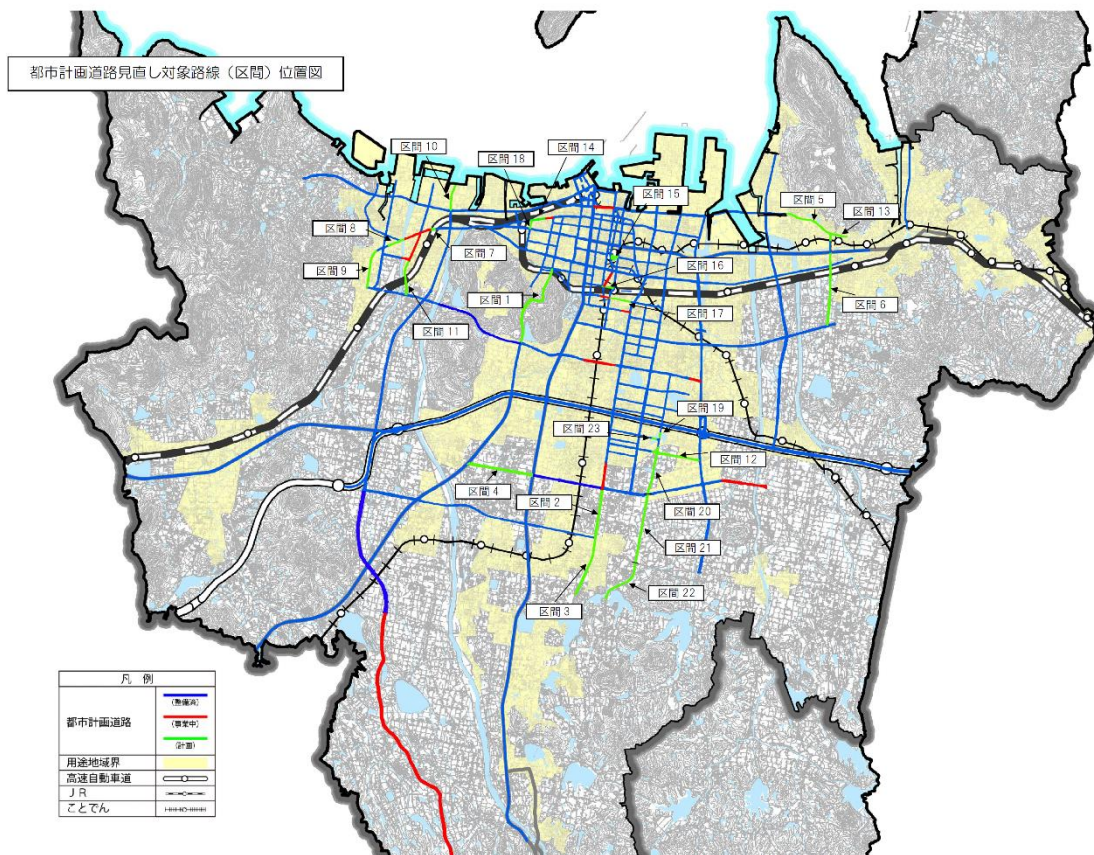
また、前回の都市計画道路網の見直しから10年以上が経過しており、都市再生特別措置法に基づく「立地適正化計画」（30年3月）や地域公共交通活性化再生法に基づく「地域公共交通網形成計画」の制度化等により、公共交通を基軸とした集約型都市（コンパクト・プラス・ネットワーク）の構築に向けた取組がより一層求められており、新県立体育館や新駅整備など、新規事業への対応も含めた都市計画道路ネットワークとしての必要性に変化が生じている。

このため、高松市における都市計画道路の未着手路線（区間）の必要性や課題を評価し、計画の存続、変更、廃止等の方向性について明確化することを本業務の目的とする。

2 調査フロー



3 調査圏域図



4 調査成果

別紙のとおり